

おすすめ図書!

- ① ころろ
夏目 漱石 原作
- ② 8人のいとこ
オルコット 作
谷口由美子 訳

日差しが強くなり、木陰が恋しい季節になりました。涼しい部屋で日頃は手を出しにくい「名作」といわれる分野を読んでみてはいかがでしょうか。

昔の本を読むのは難しいイメージがありますが、最近は読みやすいようにルビや挿絵を入れたり、いろいろな工夫がされています。一度読んで本でもイメージが違っていき、楽しむことができます。

【あらすじ】

① ころろ

高校の教科書にも掲載されている夏目漱石の代表作の一つで、年齢を重ねてから読むと学生時代とは違った味わいがあります。全体の構成は、「先生と私」「両親と私」「先生と遺書」の3部構成。

「過去に教科書で読んだことがある」という方にも、習わなかった部分を読んでみると、変わって見えるところもあります。

それを踏まえて結末に至ると、若い時と



異なった感想を得られるかも知れません。

② 8人のいとこ

今からおよそ150年前の作品ですので、現代との習慣の違いなどはありますが、ストーリーの面白さやキャラクターの魅力は色あせていません。

両親が亡くなり一人ぼっちになったローズは、素敵なアレックおじさんに引き取られて、7人の男の子のいとこと出会います。個性豊かなくたちの影響で、病弱でさみしがりやのローズが徐々に明るく美しく健康的に成長していきます。



8月図書館カレンダー

| 2021年 | | 8月 August | | | | |
|-------|----|-----------|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

【お知らせ】

◎新型コロナウイルス感染症の影響により変更が生じる場合があります。

■休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、図書整理日

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

☎ 図書館 ☎ 029-897-0647



歴史
にふれる



歩崎にあった湖水浴場

多くの方が訪れる憩いの場「歩崎公園」。この付近には、かつて湖水浴場が存在していたことをご存じですか。地元の方はもちろん、関東近郊からたくさんの方が訪れていました。今回は、歩崎の湖水浴場について紹介します。

堤防が築かれる以前の歩崎は、遠浅で非常に湖水浴に適した地形でした。

さらに、昭和8年に県指名勝の第1号となるほど景観も良かったため、歩崎には多くの観光客・水泳客が訪れていました。

水泳場には、水中ブランコやすべり台、飛び込み台も設置され、子どもたちに人気のスポットでした。



▲ 絵葉書「歩崎八景」のうち1枚。明治時代ごろの湖水浴場の様子。

また、東京からモデルを招いての撮影会も開催されるなど、かなりのにぎわいを見せていました。

昭和34年に水郷筑波国定公園として指定されたことも一助となったのか、昭和30年代には多くの人々が来場し盛り上がりつつあったようで、出島村としてもバンガローを作ったり、休憩所や砂場を作ったりと観光客誘致に力を入れていたことが伺えます。

しかし、昭和30～40年代は、生活様式の変化による生活排水の悪化、護岸工事、洪水防止の水門の建設と、霞ヶ浦の環境が大きく変わっていく時期でもあり、その変化に伴い、急激に水質が悪化していきました。

昭和40年代後半の広報誌には、湖の水が汚れてしまい泳げないという記載もあります。霞ヶ浦は日本有数の湖水浴スポットでしたが、ほかの村々の湖水浴場も相次いで閉鎖されていきました。そして最後まで営業を続けた歩崎の湖水浴場も、ついに昭和49年に閉鎖になりました。昭和42年に作られた歩崎休憩所の建物は現在でも残されており、当時の様子を物語る貴重な建物となっています。



▲ 昭和42、3年頃の湖水浴場。背後に休憩所の建物が見える。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



あじさい
土曜名画座

▶日時 8月7日 日午後2時
※午後1時半受付・開場

▶定員 先着20人

▶場所 あじさい館 [視聴覚室]

▶料金 100円

☎ 霞ヶ浦中地区公民館
☎ 029-897-0564

【鑑賞の注意点】
マスクは必ず着用してください。

『凍える鏡』

出演 田中圭 [上映時間100分]

【ストーリー】

幼い頃に母親から受けた虐待で心に傷を負った青年(田中)と、互いに確執を抱えた母娘が出会い、交流を重ねる中で新たな関係性を見出していく姿を描いたヒューマンドラマ。

あじさい館ホール展示作品紹介

【8月は「フォト霞ヶ浦」の作品展示】

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画や写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

▶期間 8月3日 日～8月29日 日

☎ 生涯学習課 ☎ 029-897-0564

投稿作品

| 出島短歌会 | | 紫陽花俳句会 | | 千代田俳句同好会 | |
|------------------------------|-------|----------------|-------|----------------|------|
| 薄墨の空にも映ゆる合歡の花 | 兼西清治 | 蒼き空およぐ水面に鯉のぼり | 飯田功 | 花は地に鳥は梅や梅雨の朝 | 今井守 |
| ルージュひく白寿の母へさくらんぼ | 竹村啓子 | 緑陰に接種終えたり小休止 | 萩原とし子 | 大夏野工事現場に安全旗 | 飯沼礼子 |
| 梅雨晴れの芝のプールに小さな水着 | 関和代 | 更衣して心もとなき両手首 | 福田宏通 | 曳き船の波きらきらと夏日かな | 大塚隼人 |
| コロナ禍に遠出もならず気が迷う株番組に心癒さる | 石塚清 | サボテンの大輪 日いきき良し | | 夏の湖少女の頃の波遊び | 大西周 |
| 年重ね福祉の御代に思う時親身に働く女の気配り | 中島良平 | | | | 加藤貞江 |
| 急がれるワクチン接種にえんとあまたの人の人の努力よ | 横井正子 | | | | |
| もう生まぬ経済・武力で傷めるな母なる地球の悲鳴が聞こえる | 近藤善康 | | | | |
| 絵手紙で顔想いだし元気がとこ無沙汰詫びる暑中見舞いを | 齊藤勝広 | | | | |
| 夫植えし枇杷のたわわに成る今年一枝手折りて仏壇に上ぐ | 岡田恭子 | | | | |
| 何よりも水が美味いと思ひ飲む梅雨晴の日の草引きのあと | 葉師寺玲子 | | | | |
| 仲良しの孫と近頃疎くなるコロナのせいと思ったりする | 名倉親子 | | | | |

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。8月3日 日までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。)